



私たち一人ひとりの行動が、  
未来につながる。

SDGs 未来都市 神奈川県



神奈川県

認知症の人と家族を支えるマーク



神奈川県

令和3年 10月 29日

記者発表資料

## 「かながわケアラー支援ポータルサイト」を開設します

近年、少子高齢化や核家族化の進展、共働き世帯の増加、家庭の経済状況の変化といったさまざまな要因がある中、ケアラーの方に過重な負担が掛かっており、そうした方々を社会全体で支援する必要があります。

このたび、ケアラーご本人や関係機関に相談窓口や利用できるサービスなどの情報を提供するとともに、県民の方にケアラーの置かれている状況などについてお知らせするため、ウェブサイトを開設します。

### 掲載内容

- ・ ケアラー・ヤングケアラーなどの説明
- ・ 相談窓口、利用できるサービスなど、ケアラーの方が利用できる支援一覧
- ・ 同じ悩みを持つ人と話せる居場所の紹介
- ・ 「神奈川県ケアラー実態調査」の結果概要 など

### ウェブサイトの URL

- (1) かながわケアラー支援ポータルサイト

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/u6s/carers/index.html>

- (2) ヤングケアラーのコーナー

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/he8/young-carer2021.html>

- (3) ケアラーの方が利用できる支援一覧

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/u6s/carers/support.html>

かながわケアラー支援ポータルサイト

ヤングケアラーのコーナー >

ケアラーの方が利用できる支援一覧 >

ケアラーは、18歳未満の子ども、若者、育児と介護などのダブルケアを担っている方、老々介護をしている方など、全世代にわたって存在しています。

家族等のケアをすること自体は本来素晴らしいことです。ケアラーの方の中には、過度なケアの負担などにより、自分の希望する人生や日々の暮らしが送れなかったり、社会的な孤立に追い込まれたりといったことが課題となっており、そうした方々を社会全体で支援する必要があります。

#### ケアラーとは

ここからさらに不遇のある人の介護、看病、育児、世話、気づかいなど、ケアの必要な家族や近親者、友人、知人などを無償でケアすることです。

近年、少子高齢化や核家族化の進展、共働き世帯の増加、家庭の経済状況の変化といったさまざまな要因がある中、ケアラーの方に過重な負担が掛かっています。



©一般財団法人日本ケアラー連盟

ヤングケアラーのコーナー

#### ヤングケアラーとはこんな子どもたちです

家族にケアを要する人がいる場合に、大人が担うようなケア責任を引き受け、家事や家族の世話、介護、療養のサポートなどを行っている18歳未満の子どもをいいます。

#### ヤングケアラーはこんな子どもたちです

家族にケアを要する人がいる場合に、大人が担うようなケア責任を引き受け、家事や家族の世話、介護、療養のサポートなどを行っている18歳未満の子どもをいいます。



©一般財団法人日本ケアラー連盟 | Illustration: RunUpOpie

## 開設日

令和3年10月29日(金曜日)

## 《SDGsの推進について》

県では、SDGsの達成にもつなげる取組として、過重な負担が掛かっているケアラーを社会全体で支援する取組を推進してまいります。



## ともに生きる社会 かながわ憲章

KANAGAWA CHARTER for an Inclusive Society

- 私たちは、あたたかい心をもって、すべての人のいのちを大切にします
- 私たちは、誰もがその人らしく暮らすことのできる地域社会を実現します
- 私たちは、障がい者の社会への参加を妨げるあらゆる壁、いかなる偏見や差別も排除します
- 私たちは、この憲章の実現に向けて、県民総ぐるみで取り組みます

## 問合せ先

神奈川県福祉子どもみらい局福祉部高齢福祉課  
課長 山本 電話 045-210-4830  
企画グループ 依田 電話 045-210-4835  
神奈川県福祉子どもみらい局子どもみらい部子ども家庭課  
課長 長谷川 電話 045-210-4650  
児童養護グループ 門倉 電話 045-210-4655

ともに生きる 新子